



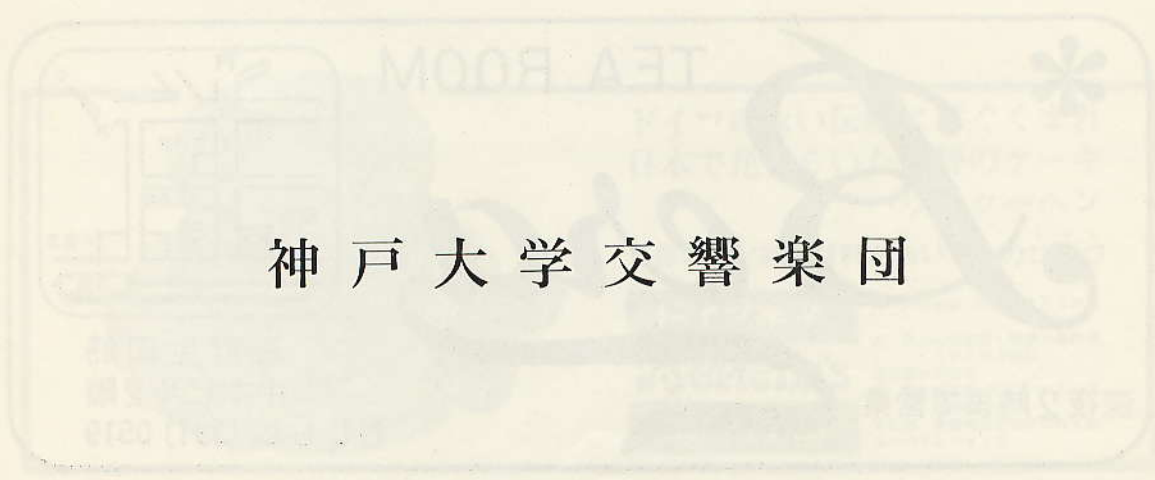
**KOBE UNIVERSITY SYMPHONY ORCHESTRA**



# 第23回定期演奏会

昭和48年12月21日(金)

神戸文化ホール



神戸大学交響楽団

# ごあいさつ

響友会会長 岩 崎 純 一

神戸大学交響楽団第23回定期演奏会が開催される日が参りました。この定期演奏会は音楽部学生諸君にとっては如何に重大な意義を持っているものであるか計り知れないものがあると存じます。学生々活一年の結晶をこの音楽会にかけて皆様に発表するに当り、本年も古典の名曲を選定して数ヶ月に亘りたゆまざる努力と練習を積み重ねて本日の発表会を迎えることになりました。

何分学業のかたわらに趣味として習得した技術と音楽でございますので甚だ至らぬ処が多かるうとは存じますが当大学学生による精一杯に努力した音楽会として、どうか学生諸君の真摯な努力と情熱を傾けた結果を御鑑賞して頂き度く我々共々に本夕を楽しくお過ごし頂ければ幸甚と存じます。

本日は年末御多忙の中を特に当楽団のために御臨席下さいまして錦上花を添えて頂きましたことは誠に有難く厚く御礼を申し上げます。今後とも神大オーケストラを身近かなものとしてお考へ頂きその発展に御後援賜らんことを切にお願い申し上げます。

神戸大学交響楽団部長 川 上 達 文

皆様、今宵はようこそ御来場下さいました。

昨年定期演奏会ではベートーベンの第9交響曲を取り上げましたが、奇しくも今年のはかのハンス・フォン・ビューローが第10交響曲と評したと言われるブラームスの交響曲第1番に挑むことになりました。

ここ数年のうちに、当楽団は90余名の部員をかかえる大世帯となり、利点もある反面ややもすると部員相互の意志の疎通に欠ける状態に陥りやすいことが否定できぬ現状でありましたが、部員一人ひとりの積極的な姿勢を通じて心のハーモニーの創造に努め、練習に練習を重ねた結果ようやく実を結び、本日の演奏会を迎えるに至りました。

つたない演奏ではありますが、若さと情熱をもって一生けんめい演奏致します。どうぞごゆっくりお聴き下さい。

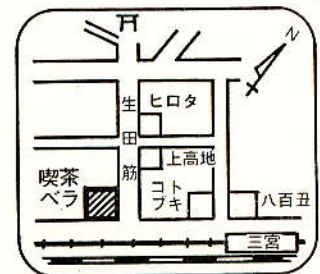
今後とも皆様方の御指導と御協力をお願い致します。



TEA ROOM

# Bera

深夜2時まで営業



三宮生田筋  
中本ビル2階  
もしもし (391) 0519

## プログラム

チャイコフスキー スラブ行進曲

ハイドン 交響曲 第104番「ロンドン」

I Adagio—Allegro

II Andante

III Menuetto Allegro

IV Finale Spiritoso

— 休憩 —

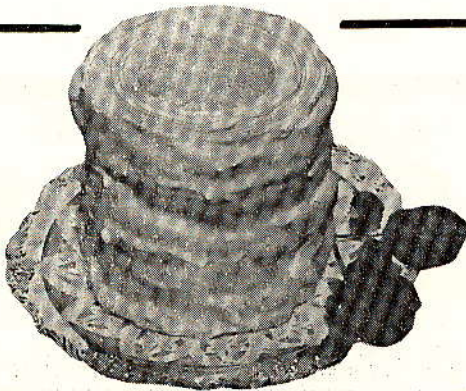
ブラームス 交響曲 第1番 ハ短調

I Un poco sostenuto—Allegro—Meno Allegro

II Andante sostenuto

III Un poco Allegretto e grazioso

IV Adagio—Allegro non troppo, ma con brio



ドイツの永い伝統にはぐくまれ  
日本で花ひらいた生粋のケーキ  
バウムクーヘン

自然の味／純正材料がおいしさのひみつ

ドイツ菓子

Fachheim's

ユーハイム

神 戸＝本店・三宮店・さんちか店  
大 阪＝心斎橋店・阪急三番街店  
ミナミ地下街店  
名古屋＝中日店  
東 京＝銀座店・渋谷店・ソニー店  
新宿西口店  
その他 全国有名百貨店のれん街  
ユーハイムショップ



## 曲 目 解 説

### ス ラ ブ 行 進 曲

チャイコフスキー

チャイコフスキー (1840~1893) の音楽が各地の演奏会で最もよくとりあげられる音楽の1つである理由はどういうところにあるのであろうか。彼はロシアの作曲家の中でも国民楽派とはちがいで西欧派とよばれるが、その音楽の根底には国民楽派よりも、もっとロシア的な、さらに新しい時代のロシアの苦悶が息づいていたのではないだろうか。チャイコフスキーはドイツの作曲家たちのようにがっちりとした構成の音楽を書くことが苦手であったようである。それよりも当時のフランスやイタリアにみられる自由な旋律の美しさをもって応酬したのである。彼の旋律は甘い美しさにあふれ、しかも哀感にみちたものが多いため大衆性がある。このスラブ行進曲もあの有名なテーマでもって彼の音楽を感じることができる。この曲はロシアの傷病兵の慰問のために依頼されて作曲され大いに歓迎され好評を博したといわれている。またロシア国歌も効果的に用いられ、チューバやトロンボーンによって堂々たる盛り上がりを見せ、ロシアへの愛国心をこめてチャイコフスキーが力をふりしぼって書いたとも思われるような圧倒的な迫力のうちに曲は結ばれるのである。(M.T.)


### 交 響 曲 第104番 ニ長調「ロンドン」

ハ イ ド ン

交響曲という形式は器楽が隆盛をきわめたバロック後期のイタリアにその萌芽を見ることができる。すなわちヴェネツィアの音楽家達の確立したコンチェルトにおける急-緩-急の有機的構成による3楽章形式が交響曲の楽章配置の基礎になった。さらに古典派初期のマンハイム楽派によりこの形式は発展した。彼等は、新しいソナタ形式を特に急楽章に用いること、および、古いフランス宮廷舞曲のメヌエットを緩楽章とフィナーレとの間に配置することによって、交響曲の形式を整えた。

このあたらしい形式の美を余すところなく表出したのが一連のハイドンの交響曲である。

ハイドンは1759年に27才で第1番の交響曲を作曲してから、1795年最後の第104番「ロンドン」を完成するまで、驚くべき数の交響曲を世に出したわけであるが、1795年以後は、死の年の1809年までの14年間というもの、一曲の交響曲も作曲していない。この事実は、彼の作曲姿勢を端的に示していて興味深い。このジャンルにおけるもう一人の天才モーツァルトが1791年にすでに世を去っており、ベートーベン以後は、交響曲の視点が、形式美による力感よりも内容の充実という方向に変化していったことを考えると、この104番のシンフォニーの音楽史上の位置と重要さはおのずと明らかになるだろう。(M.E.)



満期が楽しみです!

同和火災の

# 積立総合保険

〈長期総合保険〉

SUS

## 同和火災海上

大阪 大阪市北区神明町6-1 ☎(06)361-1371  
東京 東京都中央区日本橋3-5-15 ☎(03)274-5511



## 交響曲 第1番 ハ短調

ブラームス

この曲について語るとき、ブラームスが着想から完成まで21年もの長年月をかけた事実を看過できない。ブラームスの眼前には常にベートーベンの“不滅の9曲”がついてまわったといわれている。したがってこの曲はブラームスの苦心の結晶であり、彼の4曲の交響曲の中でも最もベートーヴェンの影響を強く受けた作品である。初演はブラームス43才の1876年11月4日、デッソフ指揮のカールヌルエの宮廷管弦楽団によってなされ、「第10交響曲」と呼んだビューローの言はあまりにも有名である。

### 第一楽章 Un poco sostenuto—Allegro ハ短調 ¾拍子

緊迫したティンパニーの連打をともなって序奏部が始まる。バイオリンが半音階的に上昇する序奏主題は8小節に及び、すさまじいばかりの息苦しさと気負ったような激しい意気ごみを感じさせる。この主題が全曲を有機的に統一する基本動機となっている。陰うつな間奏の後、再びこの序奏主題が現われ、それを絶頂として下降を示し、静かに序奏部を終わる。

主部はソナタ形式で、木管の短い半音階的な序奏動機が橋わたしとなって第一ヴァイオリンに第一主題が現われる。これは極めて推進的なもので、心理的な葛藤を背負いながら高揚しようとする魂を描く。第二主題はオーボエが奏する哀調を帯びた繊細なもので、木管の美しい対話を含む。3つの8分音符と1つの付点4分音符からなる動機が提示部最後の高潮部を作り、展開部へつなぐ。展開部では、主動機や提示部結尾の動機を複雑に展開させ、堂々とした雄々しい剛毅な印象を与える。展開部から再現部へのひしひしと迫る高潮は圧倒的であり、次第に硬直していく闘争的な感情を露呈するようである。再現部は提示部とほぼ同じことを反復する。再現部から終結部にかけては、英雄的な努力にみちぎっていたものが奈落の底に落とされ、感動的な人間らしさがあふれてくるようである。Meno Allegroのコーダは失恋と落胆の感情が気高く表現され、永遠の安息を表わすかのような静かな長和音で終止が告げられる。

### 第二楽章 Andante Sostenuto ホ長調 ¾拍子

全楽章は、間奏風の短い中間部をもった三部形式で構成され、第一部と第三部は同じ楽趣を扱っても、驚くべきオーケストレーションのコントラストがなされている。ホ長調という明るい優雅な調性の中にブラームス特有の北歐的な暗い情緒が融け合い、うるわしい歌のような旋律の美しさと夢幻的な憂いを帯びた瞑想的な曲趣は比類ない感動にみちみちている。特に結尾をしめくくる独奏ヴァイオリンの効果は、何とも素晴らしい限りである。豊かなロマンを満喫できる音楽である。

### 第三楽章 Un poco Allegretto e grazioso 変イ長調 ¾拍子

伝統的なメヌエットやスケルツォのかわりにブラームスが得意としたインテルメッツォ風の楽章で、3部形式による。優美な律動と歌謡風の素朴な旋律はたいへん愛らしく、ユニークな美しい効果を遺憾なく発揮している。ブラームスの音楽の本質的な一面を端的にうかがわせるものである。

### 第四楽章 Adagio-Piu Andante—Allegro non troppo, ma con brio ハ短調—ハ長調 ¾拍子

ブラームスはこの楽章で勝利の讃歌と歓呼の叫びを力いっぱい歌っている。それはまさにベートーベンの言うところの“苦悩を越えての歓喜”に一致するものであり、その力強さ、雄大さはブラームスがベートーベンの直系とみなされる所以のものである。

序奏は61小節に及ぶ長大なものでハ短調 Adagio で開始される。その序奏主題は主部の讃歌主題の変形で、かすかな光明へのあこがれと悲愴味に満ちたものであるが、すぐ闇に消えさり弦のピチカートがもつれあう。それが2回繰り返され短い闘争がはいったのち苦悩が解決されぬまま静寂となる。ハ長調 Piu Andante となり、突然闇を破って、ホルンが勇ましい主題を朗々とひびかせる。この輝かしい音色の効果はすばらしく、主部のアレグロ主題を誘致する。

主部はソナタ形式であり、弦楽合奏による崇高な第一主題をもって始まる。第二主題は優美なもので、この楽章はどこをとっても常にとどまることなく新しい高揚へ向かってまい進するきびしい意志力に貫かれている。再現部の長い経過句に一つのクライマックスが築かれ、対位的な展開をともっている。曲はコーダに向かって直線的にはなばなしく盛り上がり、ハ長調の主和音を連打して終わる。

(A.N.)



ブラームス 雑感

啓 恵 無

今、ブラームスのホ短調の交響曲を聞き終ったところである。非常にあつい。感傷とか孤独感などのほかに、50才を過ぎた作曲者がなおも持ちつづけた熱くういういしい情熱に接して、こちらの方がある種の恥かしさを感じるほどである。

「クララ、愛するクララ、いつも貴女を思いつづけています。どうしてもぼくの頭からはなれないのです。貴女がいらっしゃらないとしたら、ぼくはどんなに不幸になるでしょう。貴女を心から抱擁させてください。」

「貴女を思い、貴女のお手紙を読みかえし、貴女のお写真を眺めること以外は、何も手につきません。いったいぼくをどうなさったのでしょうか。この魔力をぼくから解いていただけませんか。」

これらは、20才を過ぎたばかりのブラームスが、クララ・シューマンに宛てて出した数多くの手紙の一部である。彼は、このような愛情を50を過ぎても、いや死ぬまで持ちつづけたのである。

なぜこのようなことが可能であったのだろうか。それは、彼の愛情の精神的性格によると考えられる。つまり「性」というものに毒されていなかったのである。実際、彼は生涯独身で通し、愛しつづけたクララとの関係においてもそのようなことは一度もなかったのである。「それでは、彼は性的不能者であったのだろうか？」というような疑問が、すきんだ我々現代人の頭から出てくるかもしれない。何と悲しいことであろうか。しかし、その問いにも答えることができる。すなわち、彼の家庭は、経済的に恵まれず、彼は小さい時から、港町の酒場の古ぼけたピアノの前に座ってアルバイトというようなこともしなければならなかった。そこで、酒場のような淫らな空気に触れ、おのずと、純粋な恋愛に対する憧れとは別に、性的な欲望をその女で満たすというような生活になっていったのである。

しかしながら、彼は「性」の非力さをよく認識していたのであろう。「性」というものをもつある種の空しさ、不確かさでもって、自分の純粋な愛情を色あせたものにしたくなかったのであろう。それに彼とクララは、ロバート・シューマンに対する尊敬と愛情の念を一生忘れなかったのである。それゆえに、そのように簡単に結ばれるというようなことは考えられなかったにちがいない。彼はこの満たされない思いのゆえに、情熱というものを常に持ちつづけて、そしてその苦悩のなかにある種の喜びさえ見出し出していたのかもしれない。

名 曲  
珈 琲

さんぶる

神戸 三宮 トーアロード 高架上ル東



そして以後40年間にわたってこの交流は続けられる。その最後の頃にかわされた手紙を見てみようと思う。この時クララはすでに70を過ぎていて、演奏活動も思うようにできず、経済的には決して裕福ではなかった。そこでブラームスは恩返しの意味でお金を送ることを考えた。彼はクララの勝ち気な性格を考えて婉曲な表現で、援助を申し出たのであったが、果して断られてしまった。そして、数ヶ月後にまた手紙を書いたのである。

「愛するクララ、どうかお怒りにならないでください。すぐる夏の私の申し出に対して暖かい心でご辞退なさいましたので、なんのわだかまりもなく、あえてもう一度申し上げます。

もう少しよい工夫もあったでしょうが、私にはわかりません。ですから、あなたの足もとに1万5千マルクを捧げることをお許しください。入手したと、はがきにそれだけを書いてくだされば結構です。

心から皆様によりしくお伝えを願うとともに、なにとぞお腹だちなきよう、美しい友情のうちにおうけくださるよう切に願ひあげます。」

#### クララの返事

「10月9日、お金はつきました。私は途方に暮れております。お返しはあなたの暖かい友情に対してもできません。私が世界中の他の誰にも望まないことをおさせするほどにあなたを信頼していることを、なにとぞお知らせください。

しばらくの間、このお金は孫たちのためにぜひ必要になるまで保管いたします。ご好意は私に真の安心をあたえてくださいました。握手をもって心からお礼申し上げます。心からの感謝のなかには、多くの悲哀もまじっております。私の感動はとうてい言いつくせません。近く当地でお目にかかれませんか。ご機嫌よう、愛するヨハネス、どうかあなたのご様子も近くおきかせくださいな。」

そして、この手紙の数年後クララは76年の生涯を終える。ブラームスは、彼女よりも14歳も年下だったのであるが、彼女の死後、あとを追うようにしてこの世を去る。

このように二人の人間、しかも男と女が、純らかな心のふれあいを続けたということを知り、何とも言えぬやすらぎを感じたのはこの筆者だけではない。

兵庫県公安委員会指定

## 学校法人 兵庫県自動車学校

♣入学受付 毎日

♣入学日 毎週金曜日

ここで入学の受付を致します。

☆神戸連絡事務所  
☆星電社  
☆宝塚連絡事務所

神戸市加納町3丁目交差点東側  
大和信用組合本店 TEL神戸241-3535(代)  
神戸三宮センター街星電社5階  
ドライブ用品売場 TEL神戸391-8171(大代)  
阪急宝塚駅終点南出口すぐ前  
宝塚不動産K.K. TEL宝塚86-4547・87-0885


☆西宮本校  
☆明石分校  
☆姫路分校

阪急西宮北口駅下車すぐ南  
TEL西宮67-3761(代)  
県立運転免許明石試験場北隣  
TEL明石911-6681~2  
国道市川橋東300メートル  
TEL姫路23-8118(代)



# エッセイ

フランツ・ヨーゼフ・ハイドンは、まさに過渡期に生きた作曲家といえます。彼が生きた18世紀のころの音楽家は、ほとんどすべてが宮廷のお抱えで、またそうでなければ生活していけませんでした。これらの王の下僕とすら言える音楽家達は、彼等のスポンサーの依頼のままに、礼拝・儀式・食事の際の B.G.M. 等、あらゆる場合に依拠して、多くの曲を書きなぐりました。ハイドンも、その例外ではなく、数多くの傑作を、そして駄作をも残しました。けれども、交響曲というジャンルで、彼は、最も本領を発揮していると言えます。しかし、彼はモーツァルトやベートーベンに見られるような苦悩や安らぎの伝達を試みようとは、あまりしませんでした。それよりも彼は、楽曲の構成や音の美しさを追求し続け、ピアノソナタ・交響曲・弦楽四重奏などの分野で形式的完成を成し遂げたのです。けれども時代は急速に変化して、やがてロマンの波が押し寄せてくると、ハイドンは（極言するならば）ロマン主義への踏み台的作曲家として軽視されるようになってしまいました。特に音楽によって精神的満足及び自意識の高揚を得ようとする傾向の強い日本では、形式的に一応の評価はあるものの、実際の愛好度は、はるかに劣るようです。もしその原因が厳格なほどのハイドンの形式重視の方向にあるのならば、まさに彼は不遇な作曲家と言わなければなりません。ハイドンはハイドンであって、ビバルディでもなければ、ベートーベンでもないことを、常に念頭に置いておく必要があるでしょう。すなわち、我々はハイドンの曲の中に彼の目ざしたものを聞かなくてはなりません。その為には、むしろ我々が少なからず勉強することを要求されるのではないのでしょうか。そういう点においても現在、世界的にハイドンという作曲家が見直され、彼が、さかんにコンサートににぎわし、レコードに登場する風潮にあるといえます。が、依然、我国日本では、一年に、ほんのわずか来日する（？）小沢征爾が、頻繁に取り上げ推奨する他は、なんら話題とならないのも、不思議と言えば不思議です。（岡田 司）



清 酒


**白 雪**

シラ ユキ

小西酒造株式会社

いま六甲で話題の味の散歩道

フレッシュなパン



ベーカー

喫茶・グリル  
ティータイム


**コトブキ**

御食事に **うどんそば**

**六甲庵**

貴方の余暇を明るい職場で御活用下さい。アルバイト・パート大歓迎

AM 9:00~PM 20:00 PM 4:00~PM 9:00



株式会社  
**お菓子のコトブキ**

神戸市灘区宮山町3丁目3-1(駅前ビルB1)  
TEL: 神戸 (078) 881-6401~2

## 青春のページ

常 深 幸 子 (OB)

今から数えて約17年前、若かりし私は、オケ日誌の紙面をかりて堂々とラブレターを書いたことがある。音楽的無知の私にはオケ日誌に必要な音楽的文句が書けない。そこで苦肉の策がこのラブレターであった。

その文面は今では私にも夫のいることだし、相手の方にも最愛の奥様のいらっしゃることだし、極秘にすべきところであるが、「あなたの指揮を心より信頼申し上げます……云々」と切々と綴ったのであったと思う。不謹慎極まりないと叱られると思いきや以外にも、2、3日後次のページに返事が載っていたのである。残念ながらその文面は全く忘れてしまって思い出せないが、楽しくてうれしくてのオケ時代の1ページには違いない。

定期演奏会のあとには反省会というものがつきものである。音楽的教養の高い男子諸君はきまっぴりいろいろむづかしいことをおっしゃる。やはり16年前のそれは、第〇回定期演奏会「新世界より」の時のことである。

小泉良コンダクターがものすごく張り切って棒を振られたものである。例えば、弦楽器部門のみに関してでも、バイオリンが不揃いだといって自ら写譜しなおして配られたり、第一バイオリンの達人の長谷川君を説得して第二バイオリンに配置されたり……その甲斐あって出来ばえも上々、我々は大感激したのであった。

さてその反省会の席で、男子諸君のむづかしい立派な反省の続いたあと、司会者は心なくも女子に発言を求められたのである。今とちがって当時の女性は実におしとやかであった。7名の女性方はどうぞどうぞとゆずり合う。しかたなく最も音楽的無知な私が立ってしまったのである。やはり苦肉の策の言葉である。

「母がきのうの演奏会を見てこう申しました。

長谷川君の足があまりにも偉らそうに開きすぎていたそうです。

渡辺君が大きなシンバルを落しはしないかとひやひやしました。

女性群では清水さん(堀夫人)が一番可愛いかったとのことです。」

一同爆笑がしばらく止まらなかったことを覚えています。うれし恥かしの青春のオケページはまだまだ心に続いています。  
(響友会報より)

## コトブキ三宮ビルでデッカクやろう!!



コンパ、お友達との  
パーティ等あらゆる  
ご会合、ご宴会にコ  
トブキ三宮ビルをご  
利用ください。

6 F	大小宴会場
5 F	すき焼 しゃぶしゃぶ
3 F	お座敷焼肉

ご宴会のお問い合わせは外商課(宴会係)まで

**コトブキ三宮ビル**

阪急三宮西口 TEL. (078) 391-8681



音楽乱調辞典

第1章 楽器編

バイオリン……和名 提琴または梅淋琴  
 チェロ……和名 翫エロ、聆エロ。絶えずオケ内部にもめ事を起こす。  
 コントラバス……中国名 大提琴、和名 倍淋琴。欲求不満の人が演奏したがる楽器  
 オーボエ……この楽器を吹いている人は禿が多い。和名 横暴  
 イングリッシュホルン……イギリス人の吹くフレンチホルンのこと。  
 フレンチホルン……比較級ハレンチホルン 最上級ハレンチホルン  
 トランペット……「このトタンペット」「このイランペット」「このナランペット」  
 トロンボーン……中国名 伸縮号。略称ボーン、暴音。演奏する時に、スライドが伸びたり縮んだりする最も男性的な楽器  
 ピアノ……本来は、「強い音も弱い音も出せるクラピチェンバロ」  
 ビオラ・ダ・ガンバ……①ビオラにγ光線を当てるとビオラ・ダ・ガンマ。②ガマがビオラに化けるとビオラ・ダ・ガマ。③インド航路を発見したのはバスコ・ダ・ガマ

第2章

バッハ……遺伝学の為に貢献した人  
 ヘンデル……何である。アイデアル  
 ハイドン……ヨーイ・ドン  
 モーツァルト……生まれた時に三本指しかなかった、そのために2才で3度の和音をひいた。  
 ベートーベン……某年、春、東京田園調布に大工の息子として、悲愴な運命を背負って生まれ、情熱的な生涯を送った英雄その名を「月光仮面」、後に皇帝となる。  
 シューベルト……主作品「完成」「ザ・リトル」「風」「ます寿司」のCMソングなど。  
 チャイコフスキー……ウイスキー、オナナスキー、オナンスキー  
 クララ……シューマンが飲んでいたせき止め薬の名前  
 ブラームス……このひろについては、ひょうのえんそうをきいてほひいのれーす。  
 メンデルスゾーン……メンデルがえんどう豆を栽培していた地帯zoneのこと。  
 ショパン……音楽史上最初のヒモ  
 エネスコ……博愛主義者、作曲家、後にロネスコを作る。  
 ジョン・ケージ……野村胡堂原作「ジョン刑事捕物控」に出てくる主人公、背中に桜吹雪の入れ墨をし、犯人を捕えるときは、銭を投げる。



山村 聡

変らぬ味わいに  
 ひかれるひととき  
 舌をころがり  
 喉うるおす さわやかな味わい  
 日本盛の変らぬ旨さに  
 心ゆだねるとき  
 ふと思い出す  
 懐かしの唄

日本を代表するお酒  
 日本盛

灘 西宮酒造株式会社 醸



団伊玖磨……主作品「夕鶴」「ひかりごけ」「いかずごけ」

山本直純……某チョコレートのCMソングで多くの男性をコンプレックスにおとし入れた奴!!

### 第3章 曲名編

春の祭典……警視庁、映倫からいらまれた、ロマン・ポルノ

法悦の詩……自らの判決にエクスタシーを感じた裁判官が書いた詩

中央アジアの高原にて……中央アジアのド真中で出会った、モスラとキングコングと七色仮面とラーメン親子とハリマオーとケベル先生とスタンカと安念山とが……

巨人……読売巨人軍をいかに最下位にするかについて述べられた「HOW TO…」もの。著者：マラー。

大地の歌……不動産業者讃歌、作曲者：某国首相

魔笛……口にくわえると伸びる不思議な笛を題材とした歌劇

ダフニスとクロエ……この曲をやると必ずオケの内部に事故が起こるといふ。

蝶々夫人……ミヤコ蝶々のペンネーム。代表作には本格推理小説「蝶々殺人事件」ストリッパーの心意気を描いた「バタフライはフリー」など。

ティルオイレンシュピーゲルの愉快ないたずら……ホルンが正しく演奏すること。

### 第4章 その他

速度記号

①a tempo……(1)もとのテンポで

(2)1つのテンポ (3)あるテンポ (4)テンポごとに

②in tempo……そのままの速さで

反対語……im potent

附録……ポルノ小説

1楽章 プレスト

プロムナード……アダージョ

2楽章 アレグロ

プロムナード……ラルゴ

3楽章 アンダンテ

プロムナード……レント

終楽章……グラーベ

協奏曲……コンチェルト。ソリストが下手な場合は競争曲

室内楽……室内で楽しむこと

①ソロ……1人でやること

②デュエット……2人でやること

③トリオ……3人でやること

④カルテット……4人でやること

⑤クインテット……5人でやること

オーケストラがやって来た……最近はやり出した童謡。〽オーケストラが来た、オーケストラが来た、どこに来た/山に来た、里に来た、野にも来た。

日響……梅新にある名曲喫茶(他の名曲喫茶より、コーヒーの値段が安いのが魅力的)CM代よこせ!

国立音楽大学……昔、この大学名を「こくりつおんがくだいがく」と読んで恥をかいた。

GP(ゼネラル・パオゼ)……この記号を、グレートピアノと読んだ天才的人物がいる。

マズルカ……マズらない。

ミュージックホール……音楽と踊りがある日本独特の歌劇場、値段は安い所で800円、高い所で2,000円位、十三の木川劇場、A級吉野ミュージックなどが有名。

トラ……エキストラが酒を飲みすぎて悪乗りすること。

セミクラシック……①蟬のために作られたクラシック音楽

②古典的な蟬

ストラディバリ……バイオリンの最高級品の代名詞、最低級品の代名詞はベニヤディバリ

音楽……①音を聞きながら楽しむこと ②音が楽しむこと ③音を楽しませること

腹式呼吸……次の文章を一息で読める人はプロになれる。「法性寺の入道前の関白太政大臣様のことを法性寺の入道前の関白太政大臣殿と言ひたれば法性寺の入道前の関白太政大臣様が大きにお腹をお立てなされたによって、これからは法性寺の入道前の関白太政大臣様といおうやのう法性寺の入道前の関白太政大臣様」

(筆者：ホラ吹き童子)



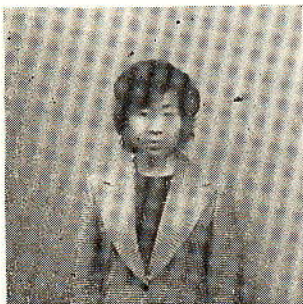
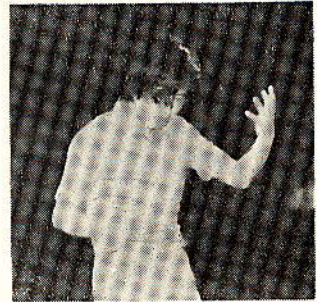


指揮者 村上 憲 司

彼こそ最も若者らしい行動力にあふれた人間なのです。今年は大学院をめざして勉強に励むかわら（めでたく合格。来年から入院生活です）、練習では血の出るような指揮ぶりです。その指揮はロマンティストらしい彼の生活を反映して、弦を大きく歌わせ、木管には涙あふれるレガート、金管にはすさまじいばかりのffを要求します。その構成はあくまできびしく、リズム感は一瞥でいえない正確さです。またその人柄には、誰でも接した者を好きにさせずにおかない楽天的な面がかいまみられますし、その反面、秋の夕日をあびた淋しげな横顔もとても印象的でした。今晚の演奏でも彼のこういった両面が音楽にあらわれ、スラブ行進曲では腕も折れんばかりに大きな盛り上がりをつくってくれるでしょうし、ブラームスでは特に2楽章に彼のロマンティックな精神が生かされ、また4楽章の勝利の凱歌では炎のように燃えた演奏となるでしょう。彼も4年間の大学生活の総決算としてこの演奏にかけているのです。

指揮者 岡田 司

経営学部在籍している彼ですが、勉強は……。彼の一週間のスケジュールはピアノ、作曲、指揮法、ピオラなどのレッスンでぎっしりつまっているのです。ですから音楽の素養は驚くべきもので、古典的な形式の中にベートーベンにも比せられるエネルギーと豊かな歌心をもったこのハイドンの交響曲など、岡田君が最も得意とするレパートリーではないでしょうか。あのニタニタ顔とは似ても似つかぬ鋭い感覚で音楽を感じとり、すぐれた美意識で造型する。『アアこの指揮者にはまいった！』（一楽員の独白）彼がヘルベルト・フォン・岡田と呼ばれるよりもゲンナジ・岡田（本当はゲンナリ岡田）と呼ばれることの方が多のは、そのひきしまっていないウェストと童顔のためなのです。私的には小沢征爾のファンであり、1000円盤を中心にレコード収集に熱狂している音楽を心から愛する岡田君、今後の活躍に御注目ください。



コンサートマスター 岩田 ち 丞 里

外大から授業が終わると神大へバイオリンを弾きにあがってくること3年、今年コンマスになったため、休むこともなく毎日頑張っている。

彼女は小さな手に合わせて8分の7の大きさのバイオリンを使っているが、大きないい音が出る。（今夜のブラ1のソロを聞いていただければわかるだろう）他の人は普通の大きさを使っているのに、なぜあんな音しか出ないのかネエ。ましてチェロなどは……。しかし我がオケのチェロも将来コンマスの影響をうけて、豊かな音色になるであろう。

さて彼女は白金カイロの袋によく似た肩あてをつけたバイオリンを、のってくと首をふりふり弾く。その姿がかわいいと誰かさんが言っていた。

最近貫録もでてきて（もともとあるが）頼りになるコンマスである。



## 4年生のプロフィール



関 川 岩 八 国  
本 崎 畔 木 見  
羽 川 西 高 水 十  
馬 上 尾 橋 野 一

### 川 上 達 文 (DB) 法学部

神大オーケストラの事を知りたい人は、まず彼に会うことである。彼こそは神大オケの何たるかを知るに足り得る人物なのである。

彼の特質を明かせば、何にでも没頭できるという事であろう。練習、勉強、コンパでの狂態振り、その他、麻雀、パチンコ……。

彼の目は、眼鏡の中で、いつもやさしく笑っているかのようであるが、その瞳の奥に何がひそんでいるのか、知る者はいない。しかし、確かなことは、我々後輩をよくかわいがってくれるよき先輩だということである。そして、今日も彼はそのやさしい眼差を投げかけるのである。でもそんな彼が女性にもてぬというのが永遠のナゾである。

### 国 見 祐 治 (Hr) 農学部

彼は、我ら下級生のアイドルであり、またよき相談相手でもある。練習に対する意欲も、その柔和な顔つきからは想像のつかないほどのものがあり、大学にはじめてホルンを手にしたとは思えないほどうまく吹きこなしている。また彼は今年大学院を受験したのであるが、その理由も、あと2年間ホルンを吹きたいからということである。

### 羽 馬 覚 (Trp) 工学部

人なつっこそうな顔で、いつも笑顔をやさない彼は、4年生というより、よき友達という感じであろう。どこからともなく彼女と共に現われ、練習が終ると疾風のように去っていく彼は月光仮面のようなものである。彼は兵庫県の片田舎にある人も知らない北条高校とかいう高校の出身で、今でも休みになると秋は稲刈り、春は田植えと忙しく働くのである。またアンドレを目標とする彼は自らオンドレと名乗ってその普及に努めたが、その成果やいかに？それは今晩の演奏を聞いてからということになりそうである。

### 高 橋 直 子 (Vn) 神戸外大

当オケの多くの美人バイオリニストの中でも際立って美しく、ミス・オケとの呼び声も高かっただけに、彼女の卒業及び落付いた様子を惜しむ声は高い。彼女の卒業後は、指揮者はバイオリン方面に目の向け甲斐がなくなるであろうし、又オケ慣例の人気投票ではアナ馬が票を集めることも予想される。酒好きであるそうだが、決して乱れず、控え目な中に一本芯の通った純日本的な女性である。既に、商社「トーメン」に就職も決まり、ただ今予備知識の勉強中だそうである。



水野早輝子 (Vla) 経営学部

愛称「ママ」

三年の時はマネージャーとして、女性らしく細やかに、出来の悪いオケメンバーのめんどうをよくみてくれた。個人的にも彼女のお世話になった人は多く、頭が上がないのではないかと思う。彼女の手作りのサンドイッチもたいそうおいしかった。いつでも、何をしてもさまになり、服装のセンスはオケーと評判であり、いつも大人のムードでせまる。しかしきまっているわりには、ビオラのパート練習中、レベルの低いだけじゃれをよく言って、皆を白けさせたものです。

B71.5 W70 H71

岩畔昌仁 (Cl) 工学部

普段は、そのクールなイメージをくずすこともなく、どこかさめたところのあるあなたが、ひとたび音楽の世界に足を踏み入れたなら、際限もなくのめり込み、激しいものがあなたを襲い、あなたをとりこにしよう……。そんなとき、あなたの魂は、バトスの中を揺らぐのでしょうか、それとも、もっと透明な世界を彷徨するのでしょうか。あれほどまでに、あなたを魅せられた人にしてしまう音楽をおそろしく思うことすらあるくらい。

クラブの軽量を誇るあの体から、奏でられるクラリネットの音色には、誰もが魅了させられてしまう。透みきって、やわらかく、春の日ざしのようなその音を、耳にするたびに、思わずため息がもれるのです。プロフィールにかえてエポードを。くらりねっとといわぐろさんとおんがくに……。

八木秀夫 (Vc) 経済学部

パートリーダーである彼は、すべてのことにわたって文字通りチェロを代表する人なのである。すなわち練習然り、遊び然り、……然り。練習熱心な彼の下にあっては、学業熱心？な我々は、不本意??な授業欠席をやむなく強いられ、果ては練習場は修羅場と化するのであった。(その割には……と筆者自身反省すべき向きもあるが。)しかし、そんな彼も練習を離れると、一人の青年、やさしいお兄様なのである。場面は変ってみんなで食事をするときは、一際活発に食べ動き声を出し、このパートリーダーを前にして筆者驚嘆の余り目前黒一色になるのを覚えるのである。こんな愉快で頼もしい彼も4年で卒業させるのは心惜しく思われるのである。

関本孝雄 (Hr) 工学部

彼は3年間、常に前向きな姿勢でオケと取り組み、パートリーダーとしての重責を見事に果たしたのであった。であるのになぜか彼は4年になると隠居生活に入ったのである。疲労のせい、はたまた天才的雀士としての腕を更にもがくためであったのか。謎である。責任感の人一倍強い彼の姿勢を後輩諸氏は見習うべきであろう。ロマンチストでフェミニストでそして彼は言い忘れたがホルニストである。

西尾典子 (Vn) 農学部

かの悪名高き、神戸高校のオケで、3年間腕をみがき、当神大オケにおいても、みごとなViolinの音色をきかせてくださった。中学生がそのまま大学生になったような幼い風貌の持ち主であったが、頼りになるやさしい先輩でもあった。学業が多忙なため、クラブから遠のいてしまわれたことは、後輩にとっても、さびしいかぎりだ。しかし、クラブには来られなくても、音楽に対する情熱は、いつも彼女の心の中で燃えていたであろうし、これからもずっとそうであるに違いない。

十一 能理子 (Vn) 山手女子短大

彼女を語るには、まずそのすらりと長い脚線美を述べるべきであろう。演奏会当日はロングスカートであるのが誠に残念である。セカンドを支える細長い柱として、4年間を通じて山手から出張して活躍され、この4月専攻科卒業後は、ピアノの出稽古などで忙しい日を送っているらしい。「十——十チキンラーメン」は日本の常識です。

川崎祥一 (DB) 経営学部

23才。違いがわかるこの男の愛するものは、アルト・ラブソディーと20本入50円のエコーだ。

まずは御卒業おめでと御座います。

川上部長に象徴される一楽章おくれのベース界にあって、進歩的な彼はG.P.のソロイストと賞讃される。豊富な人生経験、英知あふれる話、幅広い教養等彼から得るものは多い。それにしてもエコーの煙をくゆらせながら話す彼に耳を傾ける時、幸福とは何か？といつも考えさせられる。



## 4年生のプロフィール



早	小	松	
川	笹	山	
菊	北	国	西
田	島	見	尾
村	伊	棚	松
上	丹	田	野

### 早川 明 (Fg) 工学部

その眼鏡の奥で光る鋭い目は常にきびしく、だんじてミスを許さない。妥協を許さないその演奏には人間わざとは思えぬ何か音楽にとりつかれた印象を与える。そんな彼だが、一旦酒が入ると、うそのように人が変わり、人間的な暖かみを感じられる。つまり彼は最も誠実なる人間の1人なのであろう。我々下級生はその態度を見習うべきであると小生は思うのだが……。また彼は最近ワグナーに凝りだし、レコードを借りまくっているという話である。彼のファゴットの音にも一段と磨きがかかり今やおそしと出番を待っているにちがいない。

### 松山 喜美雄 (Hr) 工学部

テツマンの最中に盲腸炎にかかったという一風変わった経験の持主ではあるが、オケの中においてはよき先輩である。またホルンを吹かせれば、フランク永井も顔負け、というくらい低音域にかけては非凡なものがある。今夜は彼の低音の魅力がフルに発揮されることを期待したい。

### 菊田 祥史 (Vn) 工学部

“2mに16cm足りない” 一彼の外見を表現するにこれほどふさわしい言葉はない。そのただきにある常に余裕をたたえた独特の風貌も、標高1.84mのかなた、雲のきれめから小さく見える。彼は工学部電子学科に属し、いつも実験に追われているようなきびしい学研生活をおくったのであるが、常にオーケストラに対する情熱を失わず、立派に両立を果たしたのである。バッハの求心的な深い音楽を愛し、自分でも無伴奏のソナタやバルティータを奏く。決して節度を失うことがなく、自分にかせられた責任は必ず果たし、下級生をやさしく指導する——最も模範的な楽員の典型、それが彼だったので。

### 松野 はるみ (Fl) 教育学部

あたり一面に漂う妖艶な香り…彼女から自然にあふれ出てくる「優雅さ」は常にオケ全員の憧憬的であり、近くにいるだけでうっとりさせられてしまうのです。まして殿方なぞは…。そしてそんな彼女を象徴するかのよう甘く優しいフルートの音色。合宿のときなど、流れてくるデュエットによく耳を傾けたものです。

彼女のフルートに対する熱情と努力の結晶であるブラ]での名セカンド振りは、きっと今宵、あなたを陶酔の世界に誘ってむことでしょう。



#### 棚田 秀子 (打楽器) 相愛

フルートでオケに入ったが、すぐ本職の打楽器に転向。今までビブラホン、鉄琴、小太鼓、大太鼓 etc.をやり、何でもO.K.ハスキーな音色のピッコロも吹く。

最近はお家の仕事(棚田木琴教室の先生)が忙しく、あまり顔を出して下さらないが、左の写真を撮るため、4年生が集まった時など、「ネェー、相愛のオケのチケットかわない…」とクラブの皆に「甘いささやき」をかけていた。

「まだ、これからもずっとオケに来ていいんでしょう」と彼女はいう。まだ4、5年は神大オケをやるつもりらしい。まいった、まいった。彼女がいるかぎり、オケの打楽器は安泰である。

#### 小 笹 源 水 (Vc) 経済学部

「まっかなたいよおもえているう～」以下あなたの数々のレパートリーと威勢のよい下駄の音で、冬の夜道の静寂さを掻き乱し、みんなでワイワイ帰ったのは、ずいぶん以前のことだったような。

バッハ、モーツァルトに狂い、ベートーベンのピアノソナタの調べに敬虔な物思いをいたすような。

よせばいいのに、あらゆる方面のあらゆる事に敢然と手を出し、後は野となれ……でもその経験と知性に支えられた、あなたの語り口は、たちまち人の心を開いてくれるのです。

コンパには必ず顔を見せ、豪快な飲みっぷりと、はてまた「まっかな～」。

何はともあれ、下駄を履いた星の王子様に幸多かれ。下駄の音がするたびに、あなたの笑顔を思い出しましょう。

#### 西 尾 博 (Vc) 工学部

彼はわがオーケストラのチェロパートのもつ野暮でいて子供っぽく、まじめそうでいてあほの集まりというイメージから脱しているただ一人の人物である。長年チェロのみに生きてきたような彼は、さすがにみごとに音をきかせる。最近、工学部でハンダ付け作業をするのにいそがしいらしく、今回の定演には出演しないが、練習中しばしば、指導のかたわら、冷やかに来てくれた。

#### 北 島 重 明 (Trb) 工学部

氏のプロフィールを書こうと思えば、女性問題に始まり、女性問題に尽きると言っても過言ではない。以前クラブ内に氏の親密なる女性関係のうわさが広まったが、我々は未だ、はっきりとした真実を知るに至っていない。氏の内には完成された、文学論、人生論、恋愛論など論とつくものが全て整然とそしてコントンと存在していて、クラブの者にとって、氏の全内容を理解するのはとうてい不可能であろう。演奏会前になると疾風のように現われ、大きな音で(決して割れることはない)オケ全体の音量をも圧倒し、疾風のように去って行く。氏自ら、正義の使者とも、月よりの使者とも自認しているが、案外憂い多き時代をなつかしむ根っからの学生かもしれない。なんじゃとて。

#### 伊 丹 万 紀 (Vn) 教育学部

愛称マキちゃん。毎日、日記を書いているとか。棚田さんと仲がよく、いつもいっしょでした。2年のころは、第1バイオリンで、先々代のコンマス河南さんとよく似た2人が並んで弾いているのが印象的でした。さて現在、あらわれるや「かわったねェー」マキちゃんから、マキお姉さま、来年はどこの学校の先生になるのかな。生徒にも毎日、日記をつける習慣をつけましょう。



# 定演22年の歩み

<b>第1回</b> 1951.11.25	親和高女	<b>第12回</b> 1962.12.4	国際会館
モーツァルト 交響曲第41番「ジュピター」		ワーグナー 「ニュールンベルグの名歌手」前奏曲	
ハイドン ピアノ協奏曲ニ長調		サン・サーンス ヴァイオリン協奏曲第3番	
グリーク 「ペールギュント」組曲		モーツァルト 交響曲第35番「ハフナー」	
ビゼー 「アルルの女」組曲		チャイコフスキー イタリア奇想曲	
<b>第2回</b> 1952.11.30	六甲台講堂	<b>第13回</b> 1963.12.10	国際会館
シューベルト 交響曲第8番「未完成」		モーツァルト 歌劇「後宮よりの逃走」序曲	
ウェーバー ピアノ小協奏曲		チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲	
ヴェルディ 歌劇「アイーダ」大行進曲		ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」	
J. シュトラウス ワルツ「南国のぼら」 「朝刊」		ガーシュイン 「ラプソディ・イン・ブルー」	
<b>第3回</b> 1953.6.14	六甲台講堂	<b>第14回</b> 1964.11.30 12.1	大阪産経ホール 国際会館
ベートーヴェン 交響曲第1番		ヴィヴァルディ 二つのヴァイオリンのための協奏曲	
サン・サーンス ピアノ協奏曲第4番		モーツァルト ピアノ協奏曲第26番「戴冠式」	
シベリウス フィンランディア		ベートーヴェン 交響曲第5番「運命」	
<b>第4回</b> 1954.12.13	六甲台講堂	外山雄三 ディヴェルティメント	
ベートーヴェン 「エグモント」序曲		<b>第15回</b> 1965.12.9	国際会館
ハイドン 交響曲第100番「軍隊」		ワーグナー 「ニュールンベルグの名歌手」前奏曲	
ビゼー 「カルメン」第1組曲		チャイコフスキー 「白鳥の湖」より	
メンデルスゾーン ピアノ協奏曲第1番		ベートーヴェン ピアノ協奏曲第3番	
<b>第5回</b> 1955.11.27	海員会館	ベートーヴェン 交響曲第3番「英雄」	
チャイコフスキー 「眠れる森の美女」		<b>第16回</b> 1966.12.6	国際会館
ショパン ピアノ協奏曲第1番		ウェーバー 序曲「オイリアンテ」	
ベートーヴェン 交響曲第5番「運命」		リスト ピアノ協奏曲第1番	
<b>第6回</b> 1956.12.2	海員会館	ヘンデル 組曲「王宮の花火の音楽」	
J. シュトラウス 歌劇「こうもり」序曲		シューマン 交響曲第3番「ライン」	
モーツァルト 交響曲第38番「ブラーク」		<b>第17回</b> 1967.12.8	国際会館
グリーク ピアノ協奏曲		ベートーヴェン 「フィデリオ」序曲	
チャイコフスキー 「白鳥の湖」より		ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番「皇帝」	
<b>第7回</b> 1957.12.2	新聞会館	モーツァルト セレナータ・ノットゥルナ	
ウェーバー *歌劇「魔弾の射手」序曲		フランク 交響曲ニ短調	
ラフマニノフ パガニーニの主題による狂詩曲		<b>第18回</b> 1968.12.10	国際会館
ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界より」		ブラームス 悲劇的序曲	
<b>第8回</b> 1958.11.28	国際会館	モーツァルト 交響曲第36番「リンツ」	
グリンカ 歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲		シューマン 交響曲第4番	
サン・サーンス ヴァイオリン協奏曲第3番		<b>第19回</b> 1969.12.15	国際会館
ベートーヴェン 交響曲第3番「英雄」		ベートーヴェン エグモント序曲	
<b>第9回</b> 1959.12.4	国際会館	シベリウス ヴァイオリン協奏曲	
グリーク 「ペールギュント」組曲		ブラームス 交響曲第2番	
サン・サーンス ピアノ協奏曲第4番		<b>第20回</b> 1970.12.12	西宮市民会館
ベートーヴェン 交響曲第5番「運命」		モーツァルト 歌劇「魔笛」序曲	
<b>第10回</b> 1960.12.7	国際会館	ムソルグスキー 交響詩「禿山の一夜」	
ニコライ 歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲		ショスタコーヴィッチ 交響曲第5番	
ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番「皇帝」		<b>第21回</b> 1971.12.6	国際会館
チャイコフスキー 交響曲第5番		シュトラウス 喜歌劇「こうもり」序曲	
<b>第11回</b> 1961.12.6	国際会館	奥田伸悟 交響的変容「沈黙の残部」	
ビゼー 「アルルの女」組曲		ショパン ピアノ協奏曲第1番	
グリーク ピアノ協奏曲		チャイコフスキー 交響曲第5番	
ベートーヴェン 交響曲第7番		<b>第22回</b> 1972.12.16	国際会館
		ワーグナー 「ニュールンベルグの名歌手」前奏曲	
		ベートーヴェン 交響曲第9番「合唱つき」	



